

中学校全教室へのエアコン設置を求める決議

近年、地球温暖化の影響や都市化の進行によって、夏季の暑さが非常に厳しく、今夏も、各地で35℃を越える猛暑日が長く続き、全国的に熱中症による死者も多数出るなど厳しい状況にある。県内の中学校においても、部活動中の熱中症による死亡事故という大変痛ましい事態が発生し、我々もこのような事が二度と起こらないように取り組んでいかねばならないと痛感するものである。

生徒に対する健康管理が重要であるとともに、猛暑時の教室での学習は決して望ましい環境とはいいがたく、学力向上にも影響を与えると考えられる。市内の全中学校では、特別教室、保健室、図書室、コンピューター室にエアコンが設置され、現在、市は音楽室へのエアコン設置を順次進めているところであるが、子どもたちの健康への配慮や、更に学習に集中できる環境を整備するためには、早期に普通教室へのエアコン設置を進めることが強く望まれるところである。エアコンが普通教室にも普及されれば、夏期の学習時間の見直しも可能になり、授業時間数も確保され、生徒の学力向上にもつながると考えられる。

また、市内の中学校は、全て災害時の避難所に指定されているが、東日本大震災を契機として、これまで以上に防災拠点としての学校施設の役割が重要視されるようになり、収容避難所としての機能強化が必要とされている。普通教室にエアコンを設置することで、非常災害時には、高齢者や乳幼児の熱中症予防にも対応できる収容避難所としても活用することができる。

大和郡山市議会は、平成27年4月30日の改選時に議員定数を24名から22名に2名削減し、平成28年度一般会計予算の認定に際しては、議員定数削減の財源効果を子育て支援や教育環境の充実のために運用することを強く求める附帯決議を行ったものであるが、この財源効果はまさにこの為に使われるべきと考えるものである。なお、大和郡山市議会では、平成28年2月議会で、次回の平成31年4月の改選時に議員定数を22名から20名に更に2名削減することを決定し、歳出削減に努めているところである。

よって、市におかれては、生徒の健やかな成長を見守り、学習に集中できる環境を整備するため、市内中学校の全教室にエアコン設置を実施するよう強く求めるものである。

以上、決議する。

平成28年12月16日

大和郡山市議会